

戦中・戦後の横浜 わたしの体験

動画を見て知ろう 戦中・戦後の横浜での生活や まちのようすについて
考えようこれから私たちの未来について

日本が戦争をしていたころや戦争が終わったころ、横浜の子どもたちは、
どんな生活をして、どんなことを考えていたのでしょうか。
また、戦後の横浜のまちはどんなようすだったのでしょうか。

それぞれのQRコードからお話を聞くことができます。説明文などは、一時停止にして読んでください。
最後には、みなさんへのメッセージもあります。ぜひ聞いてください。

おおき ひでお
大木 秀生さん



昭和20年のときは中学1年生で、西区の西前小学校のすぐそばの住宅地に住んでいました。このあたりは、横浜大空襲の被害が大きく、家も焼かれてしまいました。その後、保土ヶ谷で暮らし、終戦をむかえました。

戦中の大木さん



戦後の大木さん



かねこ ただし
金子 穎さん



昭和20年のとき小学5年生で、戸塚駅の近くに住んでいました。4年生の1月から5年生の夏休み前まで、海老名の親せきの家に疎開(そかい)をしていました。戦後、戸塚小学校を卒業し、関東学院中学校に進学しました。

戦中の金子さん



戦後の金子さん



かさはら みのる
笠原 實さん



昭和20年のとき中学3年生で、西区の東久保町に住んでいました。戦争がはげしくなり、昭和20年の4月からは、学校に行かずに綱島(つなしま)にある工場に行って働いていました。横浜大空襲の日も工場にいましたが、燃えるまちを見ながら、家に帰りました。その後も工場で働き、8月15日の玉音放送を聞きました。

戦中の笠原さん



戦後の笠原さん



やぎした さとこ
柳下 智子さん



昭和20年のとき、小学4年生でした。都筑区川和町の妙蓮寺の娘さんで、お寺では、昭和19年から神奈川区にある白幡小学校の学童疎開の子どもたちを受け入れていました。

戦中の柳下さん



知りたい内容から聞いてみよう!

下のQRコードを読み取ると、知りたい内容のところから聞くことができるよ。



戦中

(1940年ころ～1945年)

✓ 食べ物



笠原さん
(配給制度)



✓ 生活のようす



金子さん
(空襲への備え)



✓ 学童疎開



柳下さん
(受け入れていた)

✓ 空襲のようす



✓ 遊び楽しかったこと



✓ 家族が出征したとき



✓ 学校のようす



1945年
5月29日
横浜大空襲



戦後

(1945年ころ～1950年)

✓ 生活のようす



✓ 横浜のまちのようす



★ 横浜市内でも、住宅地と農作物を作っていた地域では生活のようすが違いました。

また、空襲によって焼けてしまった地域もありました。みんなさんのまちのようすはどんなだったでしょうか。

★ 戦争に関わるものが、横浜市内にも残っています。みんなさんの身近な地域にもあるかもしれません。調べてみるのもよいですね。

✓ 出征した家族

